

社会福祉法人現況報告書

平成 26 年4月1日現在

基本情報

所轄庁	都道府県											
法人名	檜の里	主たる事務所の所在地	〒 510 - 1326	三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地	電話番号	059 - 394 - 1595	FAX番号	059 - 394 - 1985				
ホームページアドレス	http://asakegakuen.com	メールアドレス	h80asake@m7.cty-net.ne.jp		設立認可年月日	昭和55年9月29日		設立登記年月日	昭和55年10月1日			
代表者	氏名	年齢	住所		職業	就任年月日						
	山田 勉	非公表	非公表		東友会名古屋地区ボランティア部会理事・部長	平成25年3月16日						

事業

社会福祉事業	種類	施設名・事業所名	公表/非公表	所在地	事業開始年月日	定員	実施形態	
							各分野の事業が同一施設(敷地)で実施	全ての事業が同一施設(敷地)で実施
児童福祉	第一種							
	第二種							
	第三種							
老人福祉	第一種							
	第二種							
	第三種							
障害者福祉	第一種	障害者支援施設	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1573	昭和56年6月1日	40		
	第二種	障害福祉サービス事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1573	平成14年4月1日	40		
		障害福祉サービス事業	公表	三重県三重郡菟野町大羽根園青葉町19-17	平成2年4月1日	4		
		障害福祉サービス事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1572-1	平成11年10月1日	5		
		障害福祉サービス事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1572-1	平成20年9月1日	5		
		障害福祉サービス事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1572-1	平成21年4月1日	7		
		障害福祉サービス事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1573	平成6年4月1日	4		
障害福祉サービス事業 相談支援事業	公表	三重県三重郡菟野町杉谷1573	平成15年4月1日					
その他	第一種							
	第二種							
	第三種							

	種類(番号を記載)	施設名・事業所名	所在地	事業開始年月日	事業規模(定員)
公益事業	16	あさけ診療所	三重県三重郡菟野町杉谷1573	昭和63年5月1日	無床
	1 必要な者に対し、相談、情報提供・助言、行政や福祉・保健・医療サービス事業者等との連絡調整を行う等の事業 2 必要な者に対し、入浴、排せつ、食事、外出時の移動、コミュニケーション、スポーツ・文化的活動、就労、住環境の調整等を支援する事業 3 入浴等の支援が必要な者、独力では住居の確保が困難な者等に対し、住居を提供又は確保する事業 4 日常生活を営むのに支障がある状態の軽減又は悪化の防止に関する事業 5 入所施設からの退院・退所を支援する事業 6 子育て支援に関する事業 7 福祉用具その他の用具又は機器及び住環境に関する情報の収集・整理・提供に関する事業 8 ボランティアの育成に関する事業 9 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業(社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・保育士・コミュニケーション支援者等の養成事業等) 10 社会福祉に関する調査研究等 11 事業規模要件を満たさないために社会福祉事業に含まれない事業 12 介護保険法の居宅サービス事業、地域密着型サービス事業、介護予防サービス事業、地域密着型介護予防サービス事業、居宅介護支援事業、介護予防支援事業、介護老人保健施設、地域支援事業を市町村から受託する事業 13 有料老人ホーム 14 社会福祉協議会等において、社会福祉協議会活動等に参加する者の福利厚生を図ることを目的として、宿泊所、保養所、食堂等を経営する事業 15 公益的事業を行う団体に事務所等として無償又は実費に近い対価で使用させるために会館等を経営する事業 16 その他(発達障害児(者)に係る児童精神科医療に関する事業)				
収益事業					
	1 法人の所有する不動産を活用して行う貸ビル 2 駐車場の経営 3 公共的、公共的施設内の売店の経営 4 その他()				
その他の事業					
	1 介護保険、障害福祉サービス等における低所得者の利用者負担減免 2 地域の単身高齢者等を対象とした見守り・配食サービス等の実施 3 地域の単身高齢者等を対象とした各種相談事業の実施 4 災害時における各種支援活動の実施 5 貧困・生活困窮者等を対象とした住宅の斡旋、食事提供等の生活支援の実施 6 他法人との連携による人材育成事業 7 その他()				

組織

理事	定員		現員		親族等特殊関係者の有無	資格				施設整備又は運営と密接に関連する業務を行う者	理事報酬 (職員と兼務の場合は支給方法)				理事会への出席回数			
	7		7			親族	他の社会福祉法人の役員	その他	社会福祉事業の学識経験者		地域の福祉関係者	施設長	その他	理事報酬・職員給与とともに支給		理事報酬のみ支給	職員給与のみ支給	支給なし
	役職	氏名	職業	任期														
理事長	山田 勉		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日													4		
常務理事	飯島 光一		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日													4		
理事	藤原 康司		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日													3		
理事	貴島 日出見		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日													3		
理事	伊藤 章夫		平成25年4月1日 ~ 平成26年9月30日													4		
理事	市川 潮		平成25年6月1日 ~ 平成26年9月30日													3		
理事	近藤 裕彦		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日													4		

監事	定員		現員		資格	施設整備又は運営と密接に関連する業務を行う者	監事報酬		理事会への出席回数			
	2		2				財務諸表等を監査し得る者			支給あり	支給なし	
	氏名	職業	任期	公認会計士、税理士			弁護士	会社等の監査役、経理責任者等				その他
	堀 正昭		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日							4		
	田中 由香里		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日							3		

	定員	現員																	
	15	15	氏名	職業	任期	親族等特殊関係者の有無			理事の親族	資格						施設整備又は運営と密接に関連する業務を行う者	理事との兼務	職員との兼務	評議会への出席回数
	親族	他の社会福祉法人の役員				その他	社会福祉事業の学識経験者	地域の福祉関係者		地域の代表者	施設長	利用者の家族の代表	その他						
評議員	山田 勉		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															4	
	飯島 光一		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															4	
	市川 潮		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															4	
	近藤 裕彦		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															4	
	水野 佐知子		平成25年6月1日 ~ 平成26年9月30日															3	
	江副 明		平成25年4月1日 ~ 平成26年9月30日															3	
	米村 ユカリ		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															4	
	川谷 洋治		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															3	
	千種 錦		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															4	
	後藤 博利		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															4	
	小林 博子		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															2	
	森尾 眞明		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															4	
	二ノ宮 讓		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															3	
	西野 公		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															4	
中村 和博		平成24年10月1日 ~ 平成26年9月30日															2		
施設長	施設名		氏名	就任年月日	法令等に定める資格の有無														
	あさけ学園		近藤 裕彦	平成22年1月1日	有														
	ワークセンターひのき		西野 公	平成15年4月1日	有														
職員	あさけホーム		西野 公	平成22年4月1日	有														
	常勤専従	常勤兼務		非常勤															
			換算数		換算数														
法人本部	0	0		0															
施設	27	21	21	18	12														

	開催年月日	出席者数	書面出席者数	監事出席の有無	決議事項	
	理事会	平成25年5月27日	9	0	有	1. 定款の一部変更 2. 平成24年度事業実績報告 3. 平成24年度決算報告 4. 経理規程の一部改正 5. あさけ学園空調設備等改修工事の進捗状況 6. 平成25年度自閉症総合援助センター拠点区分予算、あさけ学園空調設備等改修工事収支予算予算、診療所拠点区分予算の補正 7. 理事の辞任と新理事の選任 8. 評議員の辞任と新評議員の選任
	平成25年10月7日	7	1	有	1. 平成25年度自閉症総合援助センター拠点区分予算、平成25年度診療所拠点区分予算の第2次補正 2. 新規事業(指定特定相談支援事業所)の開設に向けて	
	平成26年2月8日	7	1	有	1. 新たな事業(特定相談支援事業)の実施・開始 2. 定款の一部変更 3. 法人管理運営規程の一部改正 4. 特定相談支援事業に係る運営規程の制定 5. 経理規程の一部改正 6. 職員給与規程の一部改正 7. 就業規則及びパートタイマー等の就業規則の一部改正	
	平成26年3月22日	7	0	有	1. 平成25年度法人本部拠点区分予算の補正、自閉症総合援助センター拠点区分予算、診療所拠点区分予算の第3次補正 2. 法人管理運営規程の一部改正及び運営規程の変更 3. 平成26年度事業計画 4. 平成26年度当初予算	
	開催年月日	出席者数	書面出席者数	監事出席の有無	決議事項	
	評議員会	平成25年5月27日	17	有	1. 定款の一部変更 2. 平成24年度事業実績報告 3. 平成24年度決算報告 4. 経理規程の一部改正 5. あさけ学園空調設備等改修工事の進捗状況 6. 平成25年度自閉症総合援助センター拠点区分予算、あさけ学園空調設備等改修工事収支予算予算、診療所拠点区分予算の補正 7. 理事の辞任と新理事の選任	
	平成25年10月7日	13	有	1. 平成25年度自閉症総合援助センター拠点区分予算、平成25年度診療所拠点区分予算の第2次補正 2. 新規事業(指定特定相談支援事業所)の開設に向けて		
	平成26年2月8日	11	有	1. 新たな事業(特定相談支援事業)の実施・開始 2. 定款の一部変更 3. 法人管理運営規程の一部改正 4. 特定相談支援事業に係る運営規程の制定 5. 経理規程の一部改正 6. 職員給与規程の一部改正 7. 就業規則及びパートタイマー等の就業規則の一部改正		
	平成26年3月22日	14	有	1. 平成25年度法人本部拠点区分予算の補正、自閉症総合援助センター拠点区分予算、診療所拠点区分予算の第3次補正 2. 法人管理運営規程の一部改正及び運営規程の変更 3. 平成26年度事業計画 4. 平成26年度当初予算		
監事監査	監査年月日	監査者		監査報告の有無	指摘事項	改善事項
	平成26年5月17日	堀正昭、田中由香里		有	なし	なし

資産管理

平成 26 年3月31日現在

不動産 の所有 状況	所在地	面積	評価額(千円)	担保提供の状況					
				提供年月日	借入額(千円)	借入先	償還期限	所轄庁の 承認の有 無	
基本 財産	土地	三重県三重郡菟野町大羽根園青葉町19番17	262.38	13,150					
	建物	三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	412.55	102,759					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	412.36						
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	336.17	519					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	253.50						
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	148.60	148,041					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	950.90						
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	36.00	21,384					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	223.06						
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	859.73	104,875					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	122.00	19,210					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	388.80	20,267					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	161.78	15,074					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	161.78						
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	196.12	26,725					
三重県三重郡菟野町大羽根園青葉町19番地17	86.11	3,479							
運用 財産	土地	三重県三重郡菟野町大字根の平98番1	7440.05	29,257					
	建物	三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	9.60	12					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	38.28	191					
		三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1572番地1	61.04	4,053					
公益事業用 財産	土地								
	建物	三重県三重郡菟野町大字杉谷字泥前1573番地1	222.42	23,402					
	土地								
収益事業用 財産	土地								
	建物								

その他

平成 26 年4月1日現在

情報公開	定款	役員名簿	評議員名簿	財産目録	事業計画書	事業報告書	役員報酬規程	第三者評価結果	苦情処理結果		
	インターネット	公表していない	公表していない	公表していない	公表していない	公表していない	法人HP	公表していない	公表していない	公表していない	
広報誌											
新聞											
情報公開	前々年度の財務諸表			前年度の財務諸表							
	貸借対照表	資金収支計算書	事業活動計算書 (事業活動収支計算書)	貸借対照表		資金収支計算書		事業活動計算書(事業活動収支計算書)			
				公表方法(予定)	公表時期(予定)	公表方法(予定)	公表時期(予定)	公表方法(予定)	公表時期(予定)		
	インターネット	法人HP	法人HP	法人HP	法人HP	7~9月	法人HP	7~9月	法人HP	7~9月	
広報誌				公表予定あり	6月まで	公表予定なし		公表予定なし			
新聞				公表予定なし		公表予定なし		公表予定なし			
外部監査	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	
	費用(千円)		費用(千円)		費用(千円)		費用(千円)		費用(千円)		
	公認会計士										
	監査法人										
	税理士										
その他											
指摘事項											
第三者評価	受審施設・事業所名		平成	年度	平成	年度	平成	年度			
	なし		費用(千円)		費用(千円)		費用(千円)				
準拠している会計基準	社会福祉法人新会計基準	社会福祉法人旧会計基準	経理規程準則	指定介護老人福祉施設等会計処理等取扱指導指針	訪問看護会計・経理準則	介護老人保健施設会計・経理準則	授産会計基準	就労会計基準	病院会計準則	企業会計基準	平成 26 年3月31日現在 その他

平成 26 年 6 月 1 日

平成 25 年度の主な事業報告

社会福祉法人 檜の里

[法人事業]

- (1) 「自閉症総合援助センターあさけ学園」の運営と社会福祉法人としての事業の推進
- (2) 職員の充足、育成、研修と処遇の充実
- (3) 災害対策
- (4) 利用者の権利擁護に向けた取り組み
- (5) 法人事業の必要経費等の充当
- (6) 世界自閉症啓発デー行事への参加
- (7) 広報活動（機関紙「檜の里」の年 3 回発行。）
- (8) 他団体との連携、研修

三重県社会福祉施設経営者協議会、一般社団法人日本自閉症協会、全国自閉症者施設協議会

[第 1 種及び第 2 種社会福祉事業] 「自閉症総合援助センターあさけ学園」

1. あさけ学園（居住部門）

障害者支援施設（定員：生活介護 40 人、施設入所支援 40 人）

利用実績 実利用者：生活介護 40 人（期首）→ 40 人（期末）
：施設入所支援 39 人（期首）→ 39 人（期末）

2. 多機能型ワークセンターひのき（通所部門）

多機能型（定員：生活介護 30 人、就労継続支援 B 型 10 人）

利用実績 実利用者：生活介護 21 人（期首）→ 21 人（期末）
：就労継続支援 B 型 9 人（期首）→ 9 人（期末）

3. あさけホーム（共同生活援助及び共同生活介護の定員：21 人）

利用実績 実利用者：共同生活介護 21 人（期首）→ 21 人（期末）

4. 事業の総括と見直し（別紙）

- (1) 24 時間を通じた生活支援の取り組み
- (2) 地域生活者の Total Life Care Program への取り組み
- (3) 日中活動（作業）の充実
- (4) 相談支援事業（三重県自閉症・発達障害支援センターあさけ）
- (5) 短期入所事業
- (6) 職員の育成、研修
- (7) 施設の改修施工と整備

[公益事業]

(1) あさけ診療所

来院患者数...延べ 6,323 人（うち新患数 194 人）

平成 25 年度事業報告

自閉症総合援助センターあさけ学園

はじめに

障害のある人たちに関する一連の体制整備は、「障害者の権利に関する条約」の批准により具体的な実践の段階に入った。これらの施策と私たちの実際の支援内容をどう刷り合わせていくかを念頭に置き、丁寧な取り組みとその基盤になる職員研修を進めてきた。

平成 25 年度事業の総括と見直し

1. 24 時間を通じた生活支援の取り組み

- (1) 虐待防止に向けた取り組みのひとつとして、「身体に触れる対応」の見直し作業に着手した。個々の事例を中心に進められているが、実際に身体に触れる支援のことだけでなく、どうすれば「触れる」に至らないか、あるいは個々の特性をどのように理解していくかなど、多次元的な展開をみている。
- (2) 強度行動障害支援として、有期限有目的の地域生活支援プログラム利用者への集中的な取り組み、さらに旧法の強度行動障害支援事業終了後の滞留者やロングステイ利用者への継続的な取り組みを進めてきた。
- (3) 利用者の加齢に伴い、排泄、歯科的な面、高/低血圧、ケガや感染症など、医務室や外部の医療機関と直結する対応が増加してきた。

2. 地域生活者の T L C P (Total Life Care Program) への取り組み

- (1) 移動支援サービスや地域のボランティアの活用など、さまざまな形態で社会的自立の支援に取り組むことができた。またその一方で、外出中に体調不良になった利用者が出るなど、健康管理も含めた連携や支援の必要性を改めて痛感させられた。
- (2) 健康管理については医務室との連携を強化し、日頃の健康管理から通院や入院等の支援体制を整備してきた。
- (3) 交通機関や家庭でのトラブルなど、事業所の外に出向いて対応する機会が増加している。そのための支援体制の整備や支援技術の開発が必要となってきた。
- (4) 加齢に伴う利用者自身の健康や労働への意識や構えなどが、家族や職場、地域社会とのかかわりの中で微妙に変化を始めている。ライフステージに応じた「本人が納得できる支援」「現実認識を持てる支援」を実現するためのかかわり方や距離感、地域の社会資源への働きかけなど、常に学ぶ姿勢を忘れずに取り組む。

3. 日中活動(作業)の充実

- (1) 年度末から職場実習を開始した 1 名の利用者は、就労に移行することができた。
- (2) 社会的自立への意欲を高めていく目的で取り組み始めた、地域のバザーや店舗でオリジナル商品を販売するなどの活動が年間プログラムとして定着した。
- (3) 昨年度から課題となっている個別プログラムと全体プログラムの調整は、職員数の不足から、受注作業の生産ノルマの維持や一部のオリジナル商品の注文への対応な

どの最小限の取り組みにとどまっている。次年度への課題が残った。

4．相談支援事業（三重県自閉症・発達障害支援センターあさけ）

- (1) 従来から学齢期ケースの相談が最も多いが、3歳未満の幼児の発達支援や高校生の就労支援等が増加傾向にあり、関係機関との協議も多岐にわたってきた。
- (2) 支援困難ケースについて、関係者との定期的な調整会議や合同面接を通じて、現実的な支援をコンサルテーション出来るようになってきた。
- (3) 他の事業所との連携に関する最近の問題点として、相談支援事業所が計画相談の業務に追われ日常的な支援協議が出来にくい状況や、放課後デイサービス事業所が増加したものの、支援対象者の利用にあたって混乱等が生じてきている。

* 自閉症・発達障害支援センター支援実績（平成26年3月31日現在）

発達支援 実員 499人、延べ 4,246件（内訳：訪問 1,672件 来所 999件 電話等 1,575件）
調整会議 516件

就労支援 実員 63人、延べ 299件（内訳：訪問 13件 来所 80件 電話等 206件）
調整会議 42件

研修会の開催 発達障がい理解促進事業講演会（11月）
就労支援に係る事例報告、シンポジウム及び事業報告会（3月）

5．短期入所事業（ショートステイ）

- (1) 利用希望者は年々増加傾向にある中で、実員は平成24年度よりも減少しているのに対して、延べ件数や日数はかなり多く、頻回な、あるいは長期にわたる利用者が増えてきている。
- (2) 一時期、インフルエンザの流行で受け入れの困難な期間が生じた。これを除くと、各部署が連携し、強度行動障害支援を終了した退所者、あるいは家庭や通所事業所で不適応状態になったケースへの迅速な対応、具体的な対応や助言ができた。

* 短期入所事業利用実績（平成26年3月31日現在）

実員 19人 延べ 131件、1,085日

6．職員の育成、研修

- (1) 利用者の「身体に触れる対応」をはじめ、支援内容の言語化作業などに主任が中心となって取り組み、支援チームとしての課題を抽出できてきた。職員間やチーム内の相乗効果を活かして、将来の主任やリーダーの育成につないでいきたい。
- (2) 支援員のみならず、医師や看護師、世話人、栄養士など、利用者個々にかかわる職員間の引き継ぎについて、ベテラン職員の経験的な見方のみならず、新人職員の新鮮な目や他の専門職との連携の必要性などを再確認できた。
- (3) 外部講師による研修を振り返ると、支援者に利用者とかかわる手立てが少なく、結果的に利用者との関係性をうまく積み上げていけないという状況に気づかされることも多かった。
- (4) 加齢に伴う利用者の変化に対応していくためには、当然のことながら、現在の生活

や作業プログラムを継続していくだけでは困難である。こうした利用者の変化をより身近に感じる職員が増えてきたことは大きな成果と言える。

7．施設の改修施工と整備

平成25年5月から26年1月にわたり、下記の整備工事を行なった。

- (1) あさけ学園居住棟の空調設備および電気設備等の改修
- (2) 大羽根園ホーム、青葉台ホーム ・ のIHクッキングヒーターの設置
- (3) パソコンの入れ替え
- (4) その他

以 上